

セブ島学

東洋大国際地域学部研修から

報告者

国際地域学科・2年 井上 千里
国際地域学科・2年 高藤 薫

* 5 *



井上千里さん



高藤 薫さん

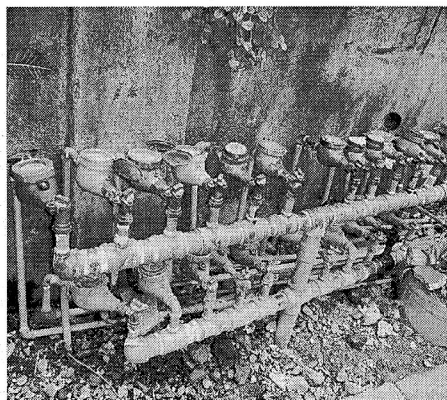
収入の5分の1

まず、バランガイ・ルスの生活で使われている水道システムを具体的に紹介します。
①「数軒で共用する水道」
②「各自の住宅に引いてある水道」

①は共用のものであり、②

水道代が高負担に

排水の不衛生さ深刻



水道管が地上にむき出しになっている

供がいる家庭では、水の使用料に月9000ペソをかけていて、これは収入の5分の1に相当するそうです。
次に、②の水道システムが家の中にある3世帯の様子を報告します。1軒目は2人家族で、収入は3000ペソ。水道代には月2000ペソ使っています。キッチンの水道だけを使う時と、シャワーとキッチンを同時に使う時では、水量をバルブで調節して使い分けていました。そうしないと水道管が壊れてしまうそうです。

2軒目は6人家族で、収入は6700ペソ、こちらの水道代も2000ペソ使っています。3軒目も6人家族ですが、

ブルの水を飲んでいるのと同じだ」とのこと、この家には大きなミネラル・ウォーターのボトルがありました。水道代には月3000ペソ使っています。これを見ると、共用のりも水道を家に引いている個人の方が、料金は割安です。しかし、②の水道システムを個人の家に取り付けるには7000ペソかかります。

水道管がむき出し

を蛇口に取り付け、1ペソを入ると冷たくて安全な飲み水が出てきます。ミネラル・ウォーターではないようです。
コストは別にして、ほとんどの家が生活用水や飲料水の「質」に満足しています。昔に比べて、飲み水や水道水の供給システムは、大きく改善された人々は言っています。10年前には、安全性の低い水により腹痛や下痢などが原因となって亡くなる人が多かったそうです。今では水が原因で大きな病気になる人はいなくなり、水の安全性は水道が整備されたおかげでだいぶ高まりました。

今日、不衛生な水を飲んだことで発生する下痢で、多くの子供たちが命を落としています。その数は世界中で1日5000人、年間で180万人を超えたりわれます。生活用水・飲用水の環境を整えることが、多くの命を救うことにつながるのです。

生活水の環境

ファイビンのスラムにおいても、状況は厳しいものがあることから、私たちはバランガイ・ルスでの調査テーマを「生活における水」としました。特に、スラムでの水道の供給や排水のシステムが具体的にどうなっているのかを知りたいと思っただけです。

は個人所有です。共用水道のシステムは、共用の水道小屋にバケツを持っていき、そのサイズに応じてお金を払い、水を得ます。小さなバケツで1ペソを支払っていました。この他にもポンプ式の供給システムがあったり、地下から水をくみ上げてためる大きなタンク付きの供給システムを持つ家があったりします。彼らは近所の人々に水を一杯1ペソで売って、利益を上げています。大量の水を使う大家族にとっては、このような形で購入する生活水の代金が大きな負担になっています。私たちが訪問した10人の子



共有の井戸で水をくむ女性

水にかかるとお金はこれだけではありません。これに加え、90年代から、スラムでもミネラル・ウォーターをサリサリと呼ばれる地元の雑貨店で購入して、飲む人が出てきています。ただし、「おいしいが高い」ミネラル・ウォーターの購入量は、収入に左右されるようです。

店で購入する水

さらに私たちは道を歩いていて、水の自動販売機を見つけた。小さなビニール袋

が、水道管は地面に埋まっておらず、むき出しになっています。水道と密接している箇所もあり、衛生にはよくありません。
水の供給システムに関しては、だいたいよく言ったといえ、排水システムは、昔と比べてもあまり変わっていません。人々の健康に少なからず悪影響を与えているので、水道管がむき出しになっている点などは早急な改善が必要だと思いました。